

(様式第 13 号)

令和 6 年度みやぎ環境交付金事業（計画・実績）概要書

| | |
|---|---------------------------------|
| 市町村名 | 大崎市 |
| 事業名 | 令和 6 年度「大崎耕土」市民参加型生物多様性モニタリング事業 |
| <p><事業目的></p> <p>市民や関係団体等の協力を得ながら、気候変動など、その土地の環境変化を知るためのバロメーターとして注目される「セミ類」の調査を行うこととし、後年度については、「バッタ類」、「チョウ類」、「アカトンボ類」、「メダカ、ドジョウ類」というように、5年程度周期で様々な生物群のモニタリング調査を実施しながら、大崎耕土の生物多様性や自然環境の変化等について把握することで、その保全に向けた取組を進めていきます。</p> <p>併せて調査イベントを開催することで、本市の自然環境や生物多様性への関心を高め、地域の自然環境の重要性について周知しました。</p> <p><事業内容></p> <p>場所：大崎市内</p> <p>内容：</p> <ol style="list-style-type: none">(1) セミ類調査旧市町 7 地域(2) 普及啓発調査イベントの開催(3) 調査データの集計・考察 <p>手法：調査及びイベントの開催、集計・考察は業務委託で実施しました。</p> <p>実施期間：令和 5 年 7 月～2 月</p> <p>調査結果：</p> <p>大崎市内においてセミ類の生息調査報告があり、次のことがかりました。</p> <p>セミ類は宮城県からは 11 種、大崎市域からそのすべての種の記録されています。そのうち、本事業ではニイニイゼミ、エゾゼミ、アブラゼミ、エゾハルゼミ、ヒグラシ、ツクツクボウシ、ミンミンゼミの 7 種が確認されました。樹種の多様性が低い環境ではセミ類の多様性も低い傾向があるとされますが(環境庁, 1997)、今回の調査でも同様でした。。調査実施地点は公園、神社境内等が多かったため、アブラゼミばかりが目立つ多様性の低い結果となりました。その中で、オニコウベスキー場付近、加護坊山、松山御本丸公園、鹿島台いこいの森のように里山に隣接し、多様な樹種が見られる地点では他の地点よりもアブラゼミの優占度が低く、セミ類の種数も多い結果となりました。</p> <p>調査イベントを 8 月 10 日に行い、オニコウベスキー場付近では親子 42 名が参加しました。この日はエゾゼミ、アブラゼミ、エゾハルゼミ、ヒグラシ、ミンミンゼミの抜け殻や成虫が確認できました。抜け殻の識別にはどうしても小さな触角をルーペで観察する</p> | |

必要があり、苦戦する場面も見られた。小さな対象を観察するには抜け殻の向きを変えるなどしてじっくりと取り組む必要があるものの、小さな子はいじっているうちに抜け殻を壊してしまうこともありましたが、熱心に観察していました。成虫は姿も鳴き声も全く異なるのに、抜け殻は良く似ているといった声が聞かれました。